

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	し尿処理	コード	作成者	役職	環境課長
		01-01-15	氏名	宇野信行	
			電話	64-1821	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	し尿・浄化槽汚泥処理が必要な市民・市内事業者のために、許可業者が収集したし尿を効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	下水道整備の普及に伴い、全体的な処理量が減少しているとともに、浄化槽汚泥の投入比率の増加等により処理対象物が希薄化しており、効率的な処理方法を検討する必要がある。また、施設の老朽化への対応策も必要である。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> し尿処理施設の検討 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

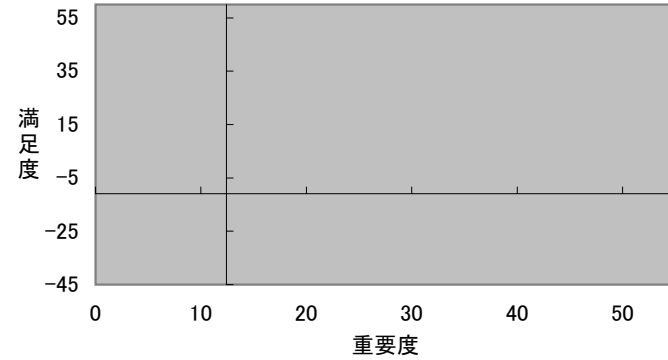
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	下水道整備の普及に伴い、処理量は減少しており市民の意見はありません。
---------------------	------------------------------------

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		目標値				ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 し尿投入量	目標	kl	13,829	12,650	11,600	11,300	11,000	8,500	施設の必要性
	実績	kl	13,829	13,198	11,694				
	達成率	%	100.0	95.8	99.2				
2 施設水道使用量	目標	m	21,254	19,128	15,000				処理効率・経費削減目安
	実績	m	21,254	17,075	11,512				
	達成率	%	100.0	112.0	130.3				
3	目標								
	実績								
	達成率	%							
4	目標								
	実績								
	達成率	%							

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算			
				H17			H18			H19						
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数				
1	し尿処理施設維持管理事業	C	し尿処理施設維持管理事業	施設維持管理	67,778	35,755		41,633	37,405		36,787	31,024	3.96	☆☆☆	\$\$\$	31,274
			岡山県し尿処理施設協議会負担金	その他単市	30			30			30			☆☆	\$\$\$	15
2	和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金事業	C	和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金	その他単市	16,381	235		15,542	225		17,685	268	0.03	☆☆	\$\$\$	17,351
この施策に費やした資源(単位:千円,人)					H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
					84,189	35,990	0.00	57,205	37,630	0.00	54,502	31,292	3.99			48,640

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
下水道課	公共下水道・合併処理浄化槽の早期整備	下水道の整備の普及状況により影響される
下水道課	下水道放流の実現	希釈度、水量などの許容検討

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	4	適正な事業実施ができています	4	成果指標は上がっており、目標値が達成できる見込みです。
2 事業構成の適当性	3	妥当である	3	環境保全対策事業として妥当である。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	必要な施策である	3	環境保全の推進が図られており有効な施策である。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	下水道放流実現に向けて希釈度、水量などを割り出し下水道課との協議が急がれる。管理事業については、運行停止日を業者協議の上、確保し経費削減に努めているが更に努力を。			し尿処理の市内統一化に向けて検討すること。
二次評価者コメント	下水道整備が進む中、し尿処理事業を見直し今後の方向性を示していくことが急がれる。検討委員会等立ち上げて早急に取り組む必要がある。			基本施策への貢献度
役職 民生部長 氏名 鶴川 晃匠				3中立